

# 内定者作成 パンフレット

～2025年度版～

国土交通省の就職活動経験したからこそ伝えられる、就活生の皆さんへのアドバイスやメッセージをまとめた資料となっています。就職活動が近づくにつれ、不安や悩みを多く抱えていることと思います。本資料が、国土交通省を目指す皆さんのお役に立てば幸いです。

2025年度 国土交通省 総合職技術系 内定者一同

# 目次

## 1 国土交通省とは

- 1-1 国土交通省のミッション
- 1-2 採用区分
- 1-3 国土交通省でしかできないこと

## 2 国家公務員総合職試験

- 2-1 採用までの流れ
- 2-2 各分野の対象となる試験区分
- 2-3 2025年度総合職春試験概要
- 2-4 実際にやった試験対策

## 3 官庁訪問

- 3-1 官庁訪問ルール
- 3-2 総合職技術系ルール
- 3-3 官庁訪問時の宿泊先
- 3-4 官庁訪問時の宿泊費用
- 3-5 官庁訪問体験記（第1クール）
- 3-6 官庁訪問アドバイス

## 4 就職活動

- 4-1 就職活動(説明会やOB・OG訪問等)の開始時期
- 4-2 情報収集方法
- 4-3 国土交通省を就活先として考え始めたきっかけ
- 4-4 国土交通省に関する情報収集
- 4-5 民間企業や他省庁との併願
- 4-6 修士・博士課程への進学について
- 4-7 就活生へのメッセージ

※本資料に記載内容は、あくまでも内定者の経験に基づき作成した資料です。次年度以降の人事院試験・官庁訪問については、2025年度と異なる場合がありますので、最新の情報は、人事院HPや、国土交通省採用HPを必ずご覧ください。



# Chapter1

## 国土交通省とは





# 1-1 国土交通省のミッション

多様な「**インフラツール**」を駆使して**“現場”**を動かすことで、  
豊かな**暮らし**を支え、**経済**を活性化させる。



国土を守り  
形作る

- 防災インフラ整備
- 災害対応、復旧・復興
- 老朽化対策



暮らしを支え  
豊かにする

- 交通ネットワーク構築
- まちづくり・景観
- 安全対策・環境対策



経済を  
活性化する

- 効率的な物流の実現
- 地域建設業の活性化
- インフラ海外展開



# 1-2 採用区分

## ①自動車・海事・航空



- 国際的な技術基準の策定を主導し、自動車・海事・航空各モードにおける安全性・環境適合性を担保し、安全で環境に優しい交通社会の実現と新技術の社会実装を促進。
- 「高い専門性が要求される業務」から「幅広い知見・素質を必要とする業務」まで様々な業務を経験。

## ②鉄道



- 鉄道は、線路や高架橋等の土木施設、信号保安設備や変電所等の電気施設、機関車や電車等の車両といったハードウェアと、列車の運転取り扱い等のソフトウェアとが一体となった総合システム。
- 土木、電気、車両及び運転の各分野にわたって、予算編成・政策立案・安全確保・基準策定・技術開発・海外展開等において、鉄道事業者等を指導しつつ連携しながら、多様かつ専門的な業務を担当。

## ③電気通信



- 安全で快適な社会インフラの提供を目指し、河川・道路等の利用や維持管理のためのシステムや、この基盤となる通信・電源を提供するためのシステムに関する企画立案、整備、管理や技術基準の策定等を担当。

# 1-2 採用区分

## ④ 営繕（公共建築）



- 良質な施設とサービスの提供および、公共建築分野において先導的な役割を果たすために、「国の建物（官庁施設）の整備」、「官庁施設の適正な保全のための指導・監督」、「官庁施設の整備や保全に関する基準の設定」を実施。
- 建物を構成する要素である建築、電気、機械を専門とする職種が連携して業務を実施。

## ⑤ 建設施工・機械



- 道路・河川の維持管理・災害対策に必要な機械類の管理・運用を行い、国民の安心・安全な暮らしを実現。
- ICT・ロボット・AI技術などのデジタル技術、データの活用による「建設現場のイノベーション」を目指して、幅広い業務を担当。

## ⑥ 住宅・建築・都市・まちづくり



- 建築・住宅・まちづくりの分野に関し、法令や基準、予算制度など、政策の企画立案や制度の施行・運用を行うとともに、良質な住宅ストック形成や民間プロジェクト(再開発、先導的事業)、公的住宅の整備を支援。
- 出先機関や地方公共団体においては、地域のまちづくりや実際のプロジェクトなども経験。



# 1-2 採用区分

## ⑦港湾・空港・鉄道



- 港湾・空港・鉄道における政策の企画・立案、利用・整備等に関する業務に携わり、物流や人流を支える交通基盤を構築することにより、経済・社会の活性化や国際競争力の向上を実現。
- 本省では、全体的な政策立案や法律の改正、予算編成等を行い、地方機関では、事業実施に当たり、調査・計画・設計・工事や地元調整等を担当。

## ⑧土木



- 社会資本整備事業の計画・事業・管理等のうち、各事業の土木関係分野を担当。
- 直轄事業（河川・道路・港湾・空港）は主に本省と地方機関で、その他（上下水道・都市・鉄道）は主に 本省と自治体・企業等を中心に行き来しながら、予算編成・政策立案や事業施工・地元調整等を経験。

## ⑨北海道開発（農業）



- 本省では、特殊な自然環境・歴史などを踏まえながら北海道開発を推進するため、「北海道開発法」に基づく「北海道総合開発計画」の策定・推進。計画の推進に向けた予算編成等を担当。
- 地方機関では、北海道農業を支える大規模な農業水利施設の整備、農作業の省力化や収益力向上を図る農地の大区画化などの事業に関する業務（調査・計画、工事管理・地元調整）を担当。

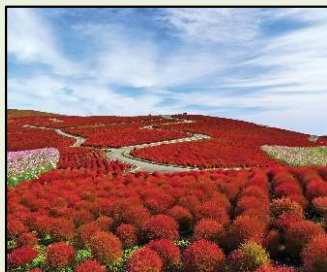
# 1-2 採用区分

## ⑩砂防



- 土石流、がけ崩れ、地すべり、土砂・洪水氾濫など、土砂や流木に起因する災害への対策を推進。
- 本省と地方機関、自治体、研究機関等を行き来しながら、政策の企画立案や事業の実行等を経験。

## ⑪造園



- 国営公園の整備・管理・運営、地方公共団体が整備する都市公園の支援、グリーンインフラとなる都市の緑や農地の保全、良好な景観の形成、歴史まちづくり等を担当。
- 本省や地方整備局、自治体等を行き来しながら、上記の政策を実現。

## ⑫国土地理院



- 我が国唯一の測量・地図に係る国家行政機関として、地理空間情報を整備・提供し、その利活用を推進。
- 高精度な測量や位置情報サービスに不可欠な電子基準点、全ての地図の基礎となる電子国土基本図、防災に役立つ地理空間情報等、社会活動の基盤となる「国土情報基盤」の整備・充実に係る業務を担当。



# 1-3 国土交通省でしかできないこと

内定者が考える  
3つのポイント！

現場と制度の両方を行き来しながら、  
複数の地域・ステークホルダーを俯瞰した目線で政策を自ら作り、  
それを現場で実際に実行することができる！



## Point① ～「行政」と「民間企業」の比較～

- 特定の人の利益ではなく、国民全体の利益を考え、業務に当たることができる。
- 政策立案の根幹に携わることができる。



## Point② ～「国家公務員（特に国土交通省）」と「地方公務員」の比較～

- 様々な地域での業務経験を通して、俯瞰した視点で物事を考えることができる。
- 日本全体に焦点を当て、広い視野で政策を検討出来る。

政策立案だけでなく、法律の  
作成/改正、税制措置など…  
アプローチ方法は様々！



流域治水関連法に基づく  
「流域治水」の本格的実践

# 1-3 国土交通省でしかできないこと

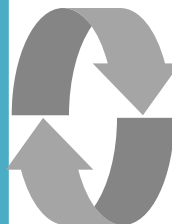
## Point③ ～「国土交通省」と「他省庁」の比較～

○ 数多くの現場を持っている省庁であるため、課題に対してスムーズなアプローチが可能。

本省



制度設計



地方事務所等



現場で試行

「TEC-FORCE」は、災害時に被害状況の把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧などに取り組み、地方公共団体を支援します！

## その他にも魅力がたくさん！

○ 技術的な知識を活かせる。

○ 新しい挑戦がたくさんある。

○ 独自の取り組み



技官の存在が不可欠！





# Chapter 2

## 国家公務員総合職試験



## 2-1 採用までの流れ

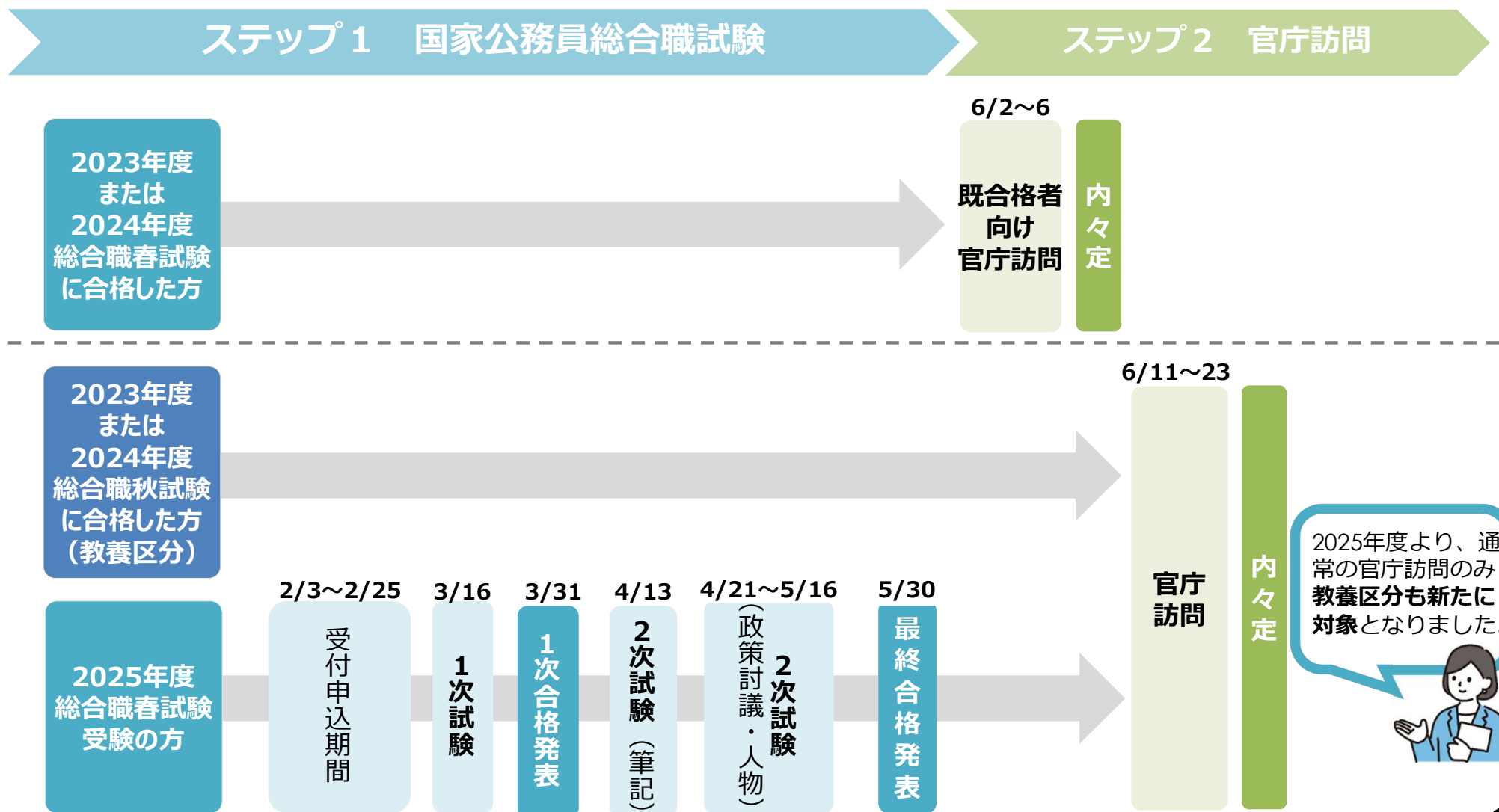
2025年6月実施  
官庁訪問の場合

○内定・採用までには下記2ステップを満たすことが必要

ステップ1：人事院が実施する**国家公務員試験に合格**

ステップ2：**官庁訪問**（各省庁が行う面接等）で志望先省庁の選考に**合格**

○既合格者のみ、6月上旬にも官庁訪問可能





## 2-2 各分野の対象となる試験区分

2025年6月実施  
官庁訪問の場合

春試験を受ける場合、院卒者試験か大卒程度試験だけでなく、専門試験における区分を選択する必要があります。**総合職技術系では、12の分野に分かれて採用**しています。それぞれの分野で対応する試験区分が異なりますので、ご注意ください。

業務分野	国家公務員試験の試験区分								官庁訪問の実施場所
	工学	デジタル	数理科学・ 物理・地球科学	化学・生物・ 薬学	農業科学・ 水産	農業農村 工学	森林・ 自然環境	教養	
①自動車・海事・航空	●	●	●	●	●	●	●	●	本省 (霞が関)
②鉄道	●	●	●	●	●	●	●	●	
③電気通信	●	●	●	●	●	●	●	●	
④営繕（公共建築）	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑤建設施工・機械	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑥住宅・建築・都市・まちづくり	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑦港湾・空港・鉄道	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑧土木	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑨北海道開発（農業）	●	●	●	●	●	●	●	●	
⑩砂防	●	●	●			●	●	●	
⑪造園	●	●	●	●	●	●	●		地理院 (つくば)
⑫国土地理院	●	●	●	●	●	●	●		

※2025年度総合職試験（技術系区分）既合格者向け官庁訪問では、教養区分は対象に含まれません。

## 2-3 2025年度総合職春試験概要

2025年度国家公務員総合職春試験試験の概要は以下の通りです。  
詳細や、次年度の情報等は、必ず人事院HPにてご確認ください。

★人事院HP：<https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/jyukennannnaiichiran.html>

院卒か大卒かで、  
第2次試験の内容が  
変わります！

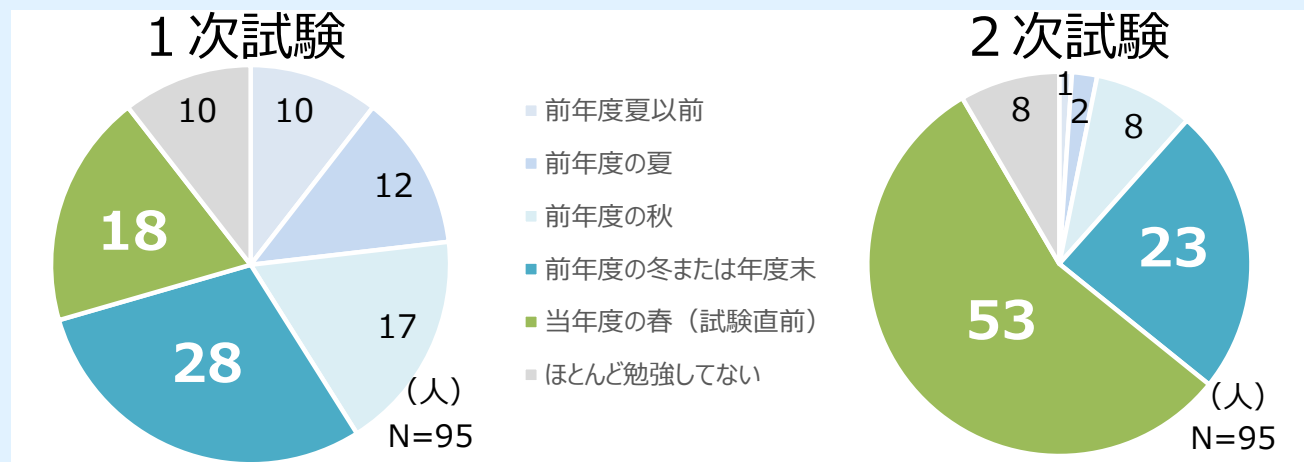


試験	試験科目	解答題数 解答時間	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての筆記試験 ・知能分野 24題 ・知識分野 6題  各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
	専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	
第2次試験	専門試験 (記述式)	2題 3時間	
	政策課題討議試験 ※院卒者試験のみ	おおむね 1時間30分	
	政策論文試験 ※大卒程度試験のみ	1題 2時間	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	人物試験		政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験
			人柄、対人的能力などについての個別面接



## 2-4 実際にやった試験対策

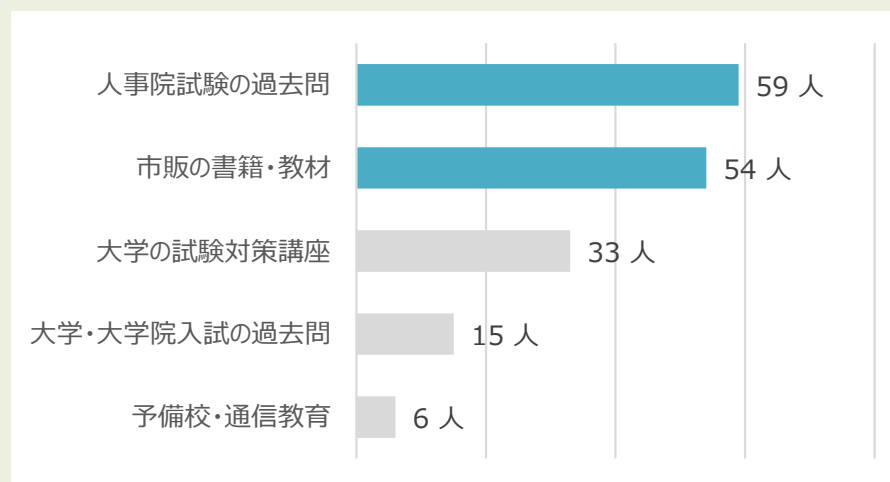
### ①勉強を開始した時期は？



半数以上が、**前年度の冬**には  
公務員試験勉強に開始してい  
たようです！



### ②実際に使用した教材・サービスは？



○ **過去問演習**をして、公務員試験に慣れておくことが大事だと思います。

○ 人事院の過去問請求は2ヶ月かかるので**早めに請求**するのをおすすめします。

○ **大学の勉強を丁寧に**取り組んでいれば、特に苦勞することはないと思います。

○ **院試と内容が重なる部分も多いので**、近い時期に受験するのをおすすめします。



## 2-4 実際にやった試験対策

### ③ 英語試験の加点は使いましたか？

点数	TOEFL (iBT)	TOEIC (L&R)	IELTS	英検	人数
25点加点	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上	28人
15点加点	65以上	600以上	5.5以上	—	22人
加点無し	—	—	—	—	45人

(N=95)

★人事院HP : <https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/jyukennannnainaiichiran.html>

加点があれば、精神的にも余裕が生まれるので、**公務員試験準備が本格化する前に受験しておくことがおすすめです！**



### ④ 試験勉強を進める上でアドバイスをお願いします！

- 自分が**やりたいことや目標**をもち、モチベーションを大切にしてほしいと思います。**説明会やインターンシップ**を通して、相談できる仲間を作るのもおすすめです。
- 筆記試験においては、どれだけ**得意分野に時間をかけられるか**が勝負だと思います。分からないものは潔く飛ばして進めると良いと思います。
- 論文執筆やバイトに旅行など…やりたいことを諦めないためにも、**計画的に勉強**を進めるのがおすすめです。なるべく早めに対策は始めましょう。

業務説明会のイベントやインターンシップ、OB・OG訪問を活用して、試験に対する不安を解消した方も多いようです！





# Chapter3

## 官庁訪問





## 3-1 官庁訪問ルール

2025年6月実施  
官庁訪問の場合

総合職試験に合格したら、次は各省庁での面接を突破する必要があります。官庁訪問は志望する府省庁等に関する知識を深める機会でもあります。人事院が定めるルールに基づき、複数の省庁を訪問することができるので、興味のある省庁へは積極的に訪問するといいいでしょう。

### ■ 既合格者向け官庁訪問（6/2～6/6）

6月				
2	3	4	5	6
月	火	水	木	金
1クール		2クール		3クール
1日目	2日目	1日目	2日目	1日目
A省	B省	A省	B省	A省

既合格者向け官庁訪問の方が、**早期かつ短期間で実施**されます！少しでも国家公務員の可能性がある方は、早めに試験を受けることをおすすめします！



### ■ 官庁訪問（6/11～6/23）

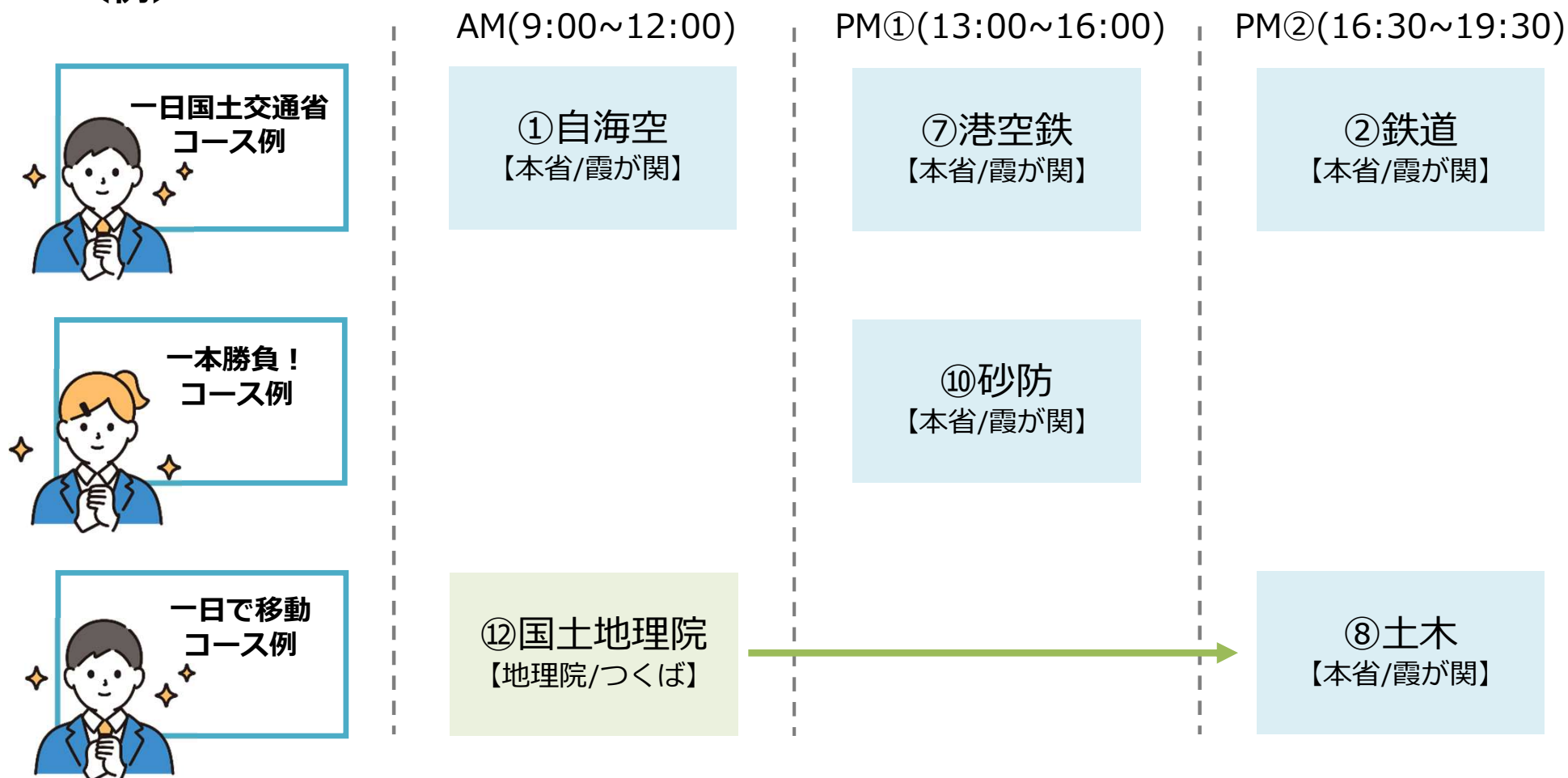
6月												
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1クール					2クール			3クール				4クール
1日目	2日目	3日目			1日目	2日目	3日目	1日目	2日目			1日目
A省	B省	C省			A省	B省	C省	A省	B省			A省

## 3-2 総合職技術系のルール

2025年6月実施  
官庁訪問の場合

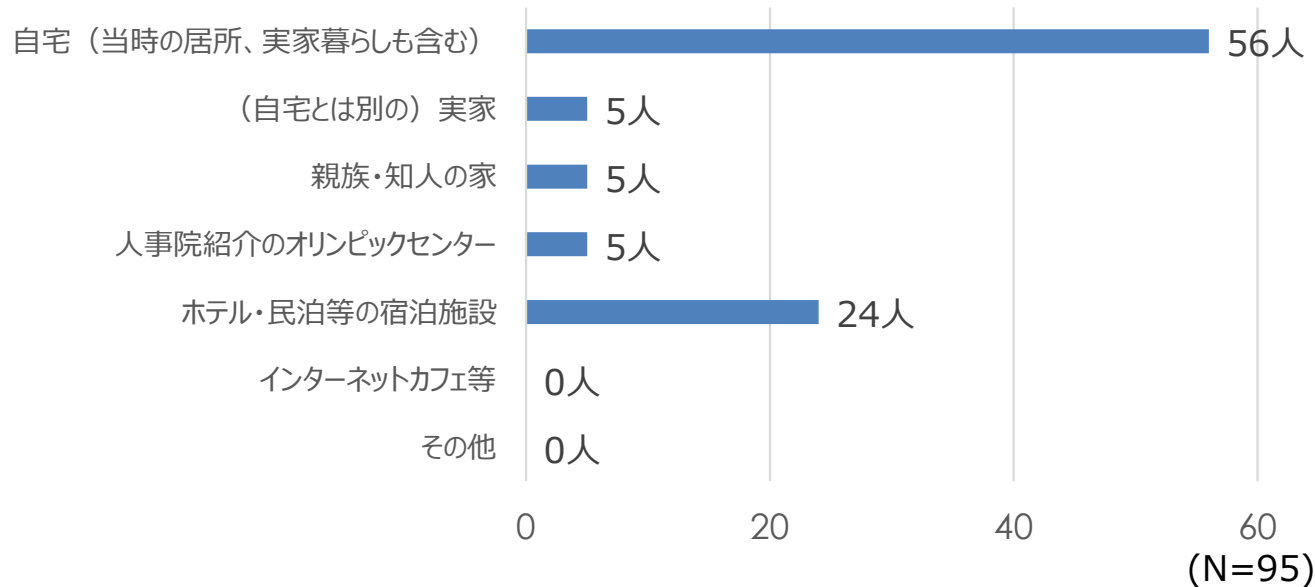
総合職技術系では、**12の業務分野に分かれて採用しており、最大3つの分野**に併願が可能です。ただし、⑫国土地理院は、「つくば」で実施予定のため、⑫国土地理院を含む場合は、**最大2つまでの併願**となります。訪問する順番は、採用本部にて決定されますので、案内にしたがってください。なお、**内々定は1つの分野のみ**で出ますので、**官庁訪問期間内にどの分野が良いか決断する必要があります**。

### <例>





### 3-3 官庁訪問時の宿泊先



#### <内定者からのアドバイス>

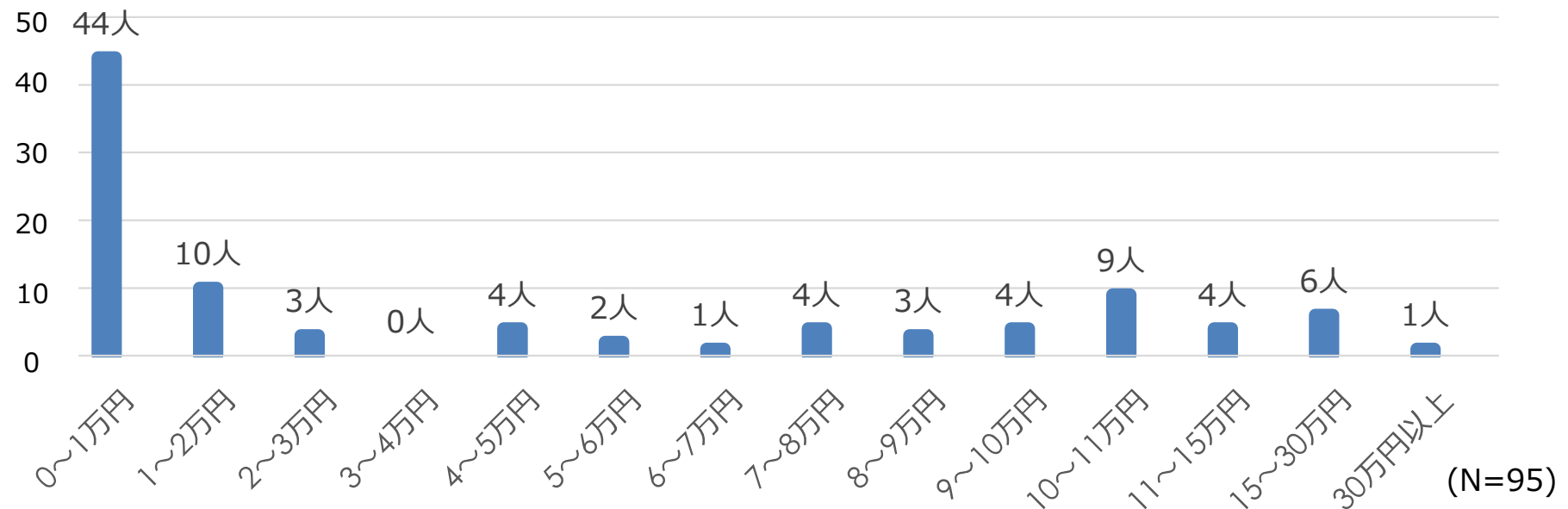
官庁訪問にかかった費用については、やはり**遠方の方が多い**なっています。  
来年ご自身が訪問される際に**予算はどれほどか、またはどこを節約するか**を今のうちから考えておくの良いと思います。



**オリンピック記念青少年センター**や**友人宅**など安く済ませるための手段を確認したり、**早め早めの予約**などで節約しましょう！



### 3-4 官庁訪問時の宿泊費用



## 3-5 官庁訪問体験記（第1クール）

### ①自動車・海事・航空

- 業務説明（25分）×3回  
※自動車局、海事局、航空局各1回
- 職員からの質問
  - ・なぜ大学でこの専攻を選んだのか
  - ・なぜ院進せず就職するのか 等
- 第2クールの案内
  - ・出口面接にて伝達

### ②鉄道

- 業務説明（30分）+面接（20分）×2回
- 職員からの質問
  - ・なかでも鉄道局の選考を選んだ理由
  - ・入省後に携わりたい業務 等
- 第2クールの案内
  - ・出口面接にて伝達

### ③電気通信

- 業務説明（45分）+面談（1時間）
- 職員からの質問
  - ・国土交通省に興味を持った理由
  - ・関心を持っている事業 等
- 第2クールの案内
  - ・出口面接にて伝達

### ④営繕（公共建築）

- 業務説明（30分）×3回
- 職員からの質問
  - ・大学で力を入れたこと
  - ・休日の過ごし方 等
- 第2クールの案内
  - ・出口面接にて伝達

※記載内容はあくまで個人的な実体験であり、全ての受験者が同様の内容であることを保証するものではありません。  
※次年度は内容が変わる可能性があるためあくまで参考資料として活用ください。

## 3-5 官庁訪問体験記（第1クール）

### ⑤ 建設機械・施工

○ 面談（1時間） × 2回 + 業務説明（30分）

○ 職員からの質問

- ・面接カードの記載事項について
- ・関心のある業務 等

○ 第2クールの案内

- ・出口面接にて伝達

### ⑥ 住宅・建築・都市・まちづくり

○ 業務説明（15分） × 5回

○ 職員からの質問

- ・志望動機
- ・業務説明を経て、興味が湧いた分野 等

○ 第2クールの案内

- ・出口面接にて伝達

### ⑦ 港湾・空港・鉄道

○ 業務説明（40分） × 2回 + 面接（15分）

○ 職員からの質問

- ・⑦港空鉄として向かい合うべき課題やその解決策について 等

○ 第2クールの案内

- ・出口面接にて伝達

### ⑧ 土木

○ 面接（30分） × 2回 + 業務説明（1時間）

○ 職員からの質問

- ・取り組みたい事項とそれに対する課題
- ・座右の銘 等

○ 第2クールの案内

- ・その日の夜に電話にて伝達

※記載内容はあくまで個人的な実体験であり、全ての受験者が同様の内容であることを保証するものではありません。  
※次年度は内容が変わる可能性があるためあくまで参考資料として活用ください。



## 3-5 官庁訪問体験記（第1クール）

### ⑨北海道開発（農業）

○面接（30分）

○職員からの質問

- ・自身が思う、北海道の農業が抱える問題とその解決策 等

○第2クールの案内

- ・後ほどメールにて伝達

### ⑩砂防

○面接（20分）

○職員からの質問

- ・チームで働いた経験
- ・挑戦する上で心がけていること 等

○第2クールの案内

- ・翌日メールにて伝達

### ⑪造園

○業務説明（30分） × 3回

○職員からの質問

- ・⑪造園に興味がある理由
- ・大学での研究内容 等

○第2クールの案内

- ・出口面接にて伝達

### ⑫国土地理院

○面接（20分）

○職員からの質問

- ・取り組みたい業務
- ・国土地理院の改善すべきところ 等

○第2クールの案内

- ・その日の夜に電話にて伝達

※記載内容はあくまで個人的な実体験であり、全ての受験者が同様の内容であることを保証するものではありません。  
※次年度は内容が変わる可能性があるためあくまで参考資料として活用ください。

## 3-6 官庁訪問アドバイス

官庁訪問を経験した内定者から、これから受験される方に向けてのアドバイスです。官庁訪問に向けた準備や当日の振る舞い方など、ご参考になしてください！



面接で意識していたことは、**端的に自分の意見を伝えること**と、**質問に対して適切に答えること**でした。いきなり面接を行っても、なかなかこの2つを意識して答えることは難しいと思います。まずは情報を調べたり、自分の考えを整理していくことで、徐々に短い言葉でも自分の考えを相手に上手く伝えることができるようになるのではないかと思います。

ぜひ**いろいろな人を頼ってください**。人と話すことで、情報を集めることができますし、客観的な意見をもらうことができるので自分にとってプラスになることばかりです。



官庁訪問では、「**その省庁を本気で志望している**」という**熱意を伝える**ことが何より大切だと感じました。なぜその省庁なのか、きっかけや原体験を交えて、自分の言葉でしっかり話せるようにしておきましょう。

**なぜ国土交通省なのか**ということと、**自分はこういう経験をしてきたから、こういう考え方ができる人間だ！！**というのを即座に答えられたら、問題無いと思います。その軸に、エピソードを付け加えるため、軸の部分をきちんと固めるのが凄く大事だと思います。



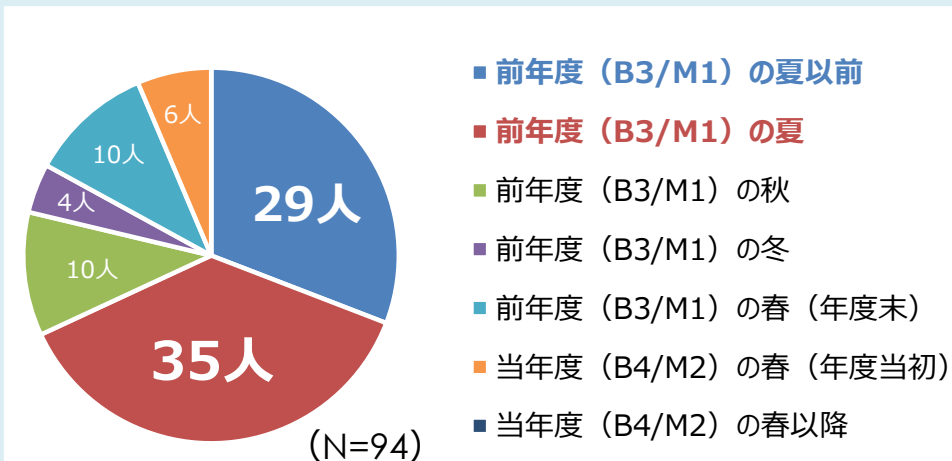


# Chapter4

## 就職活動



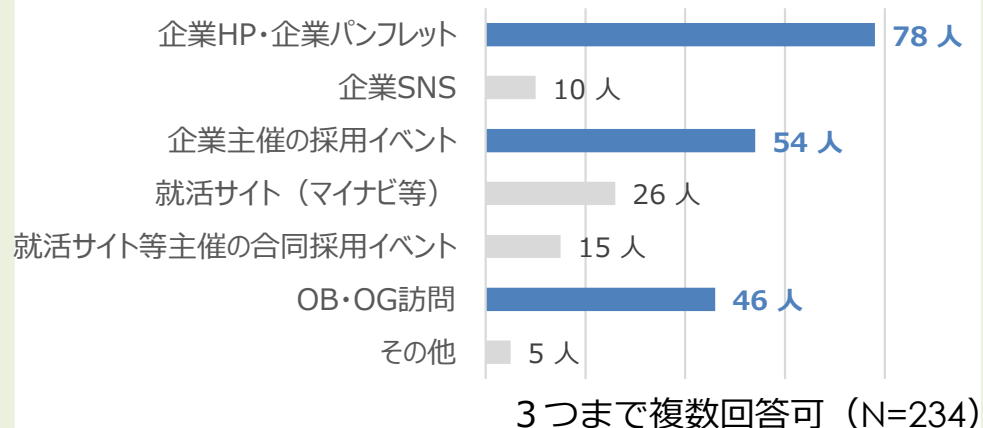
## 4-1 就職活動（説明会やOB・OG訪問等）の開始時期



学部3年の夏に初めてインターンシップに参加し、業務等の説明を受けました！（M2）

大学3年生の時にOB・OGの方々の特別講義を受けたことをきっかけに、就職活動を開始しました。（B4）

## 4-2 情報収集方法

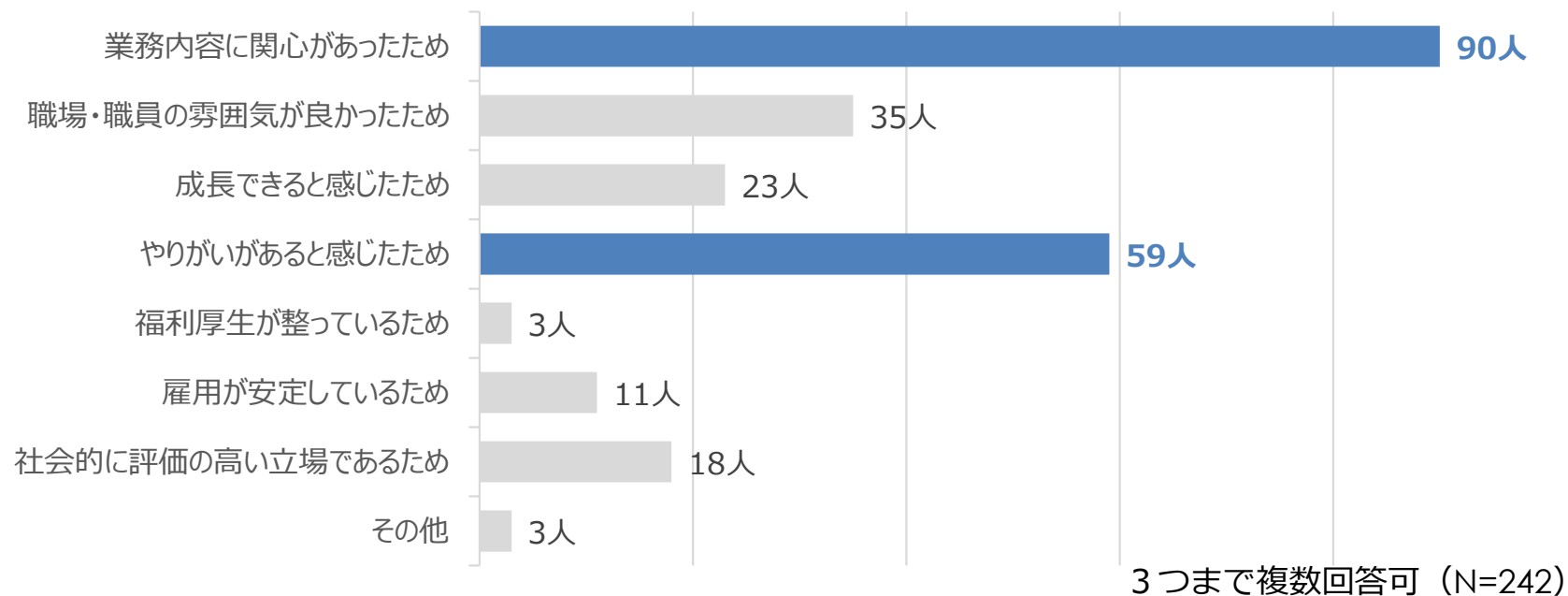


HPは様々なイベントの案内や申し込みが可能なので、逐一確認していました。

自分が関わりたいと感じる事業に関連する企業・省庁の大学OBへの訪問を行い、業務内容の理解を深めました。



## 4-3 国土交通省を就活先として考え始めたきっかけ



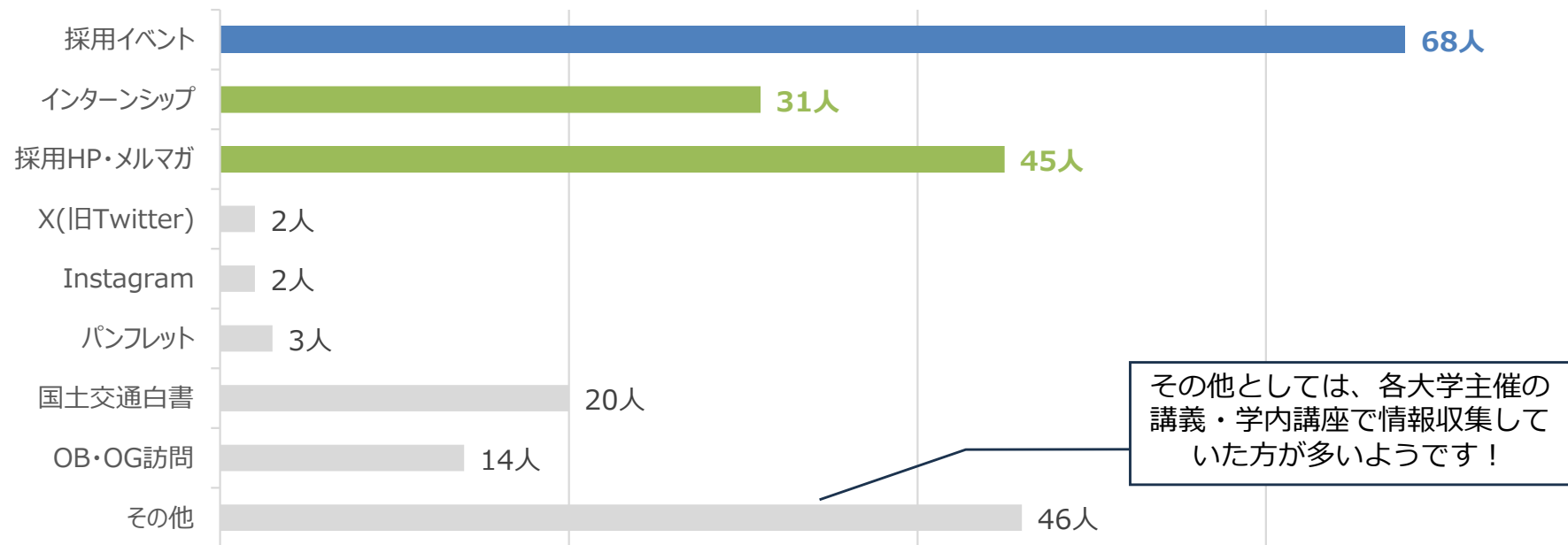
災害対策に関わりたいと強く感じており、OB・OG訪問がきっかけで国土交通省の業務内容に関心を持ちました。

大学OB・OGの存在です。同じ大学出身の先輩が活躍している姿を見て話を聞いたことで、入省後のイメージを想像することができました。

政策や制度設計を通じて国民の生活をより豊かにすることに貢献できるところに人生をかける魅力を感じたからです。



## 4-4 国土交通省に関する情報収集



採用イベントは高頻度の開催で、説明会ごとに様々なテーマがあり、**複数回参加**することで、**網羅的に情報収集**することが出来ました。

官庁訪問に関する情報は特に得にくいため、**早いうちから採用イベントやインターンシップ**に積極的に参加し、**情報を収集**していました。

採用HPの職員紹介の記事では、様々な分野の職員が語る苦労ややりがいから、国土交通省の**業務内容**に対してより具体的な**イメージ**をもつことができました。

## 4-5 民間企業や他省庁との併願

### ○民間企業との併願

民間企業を併願したと回答した方は約半数の42名で、民間企業から内々定を1つ以上もらった方は30名でした。

併願先：ゼネコン、建設コンサルタント、鉄道、高速道路、電力会社 等

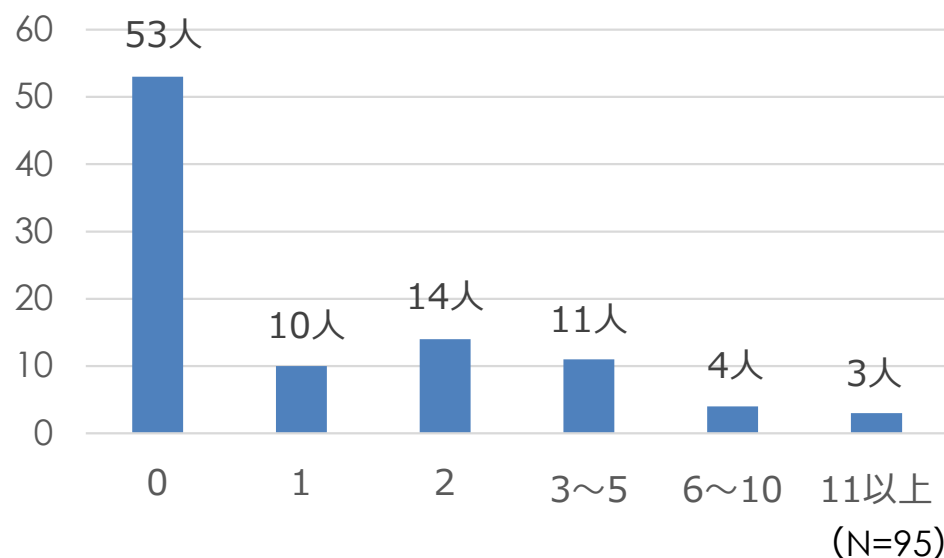
### ○官庁・公的機関との併願

他の官公庁・公的機関を併願したのは、回答者の約8割にあたる計78名でした。

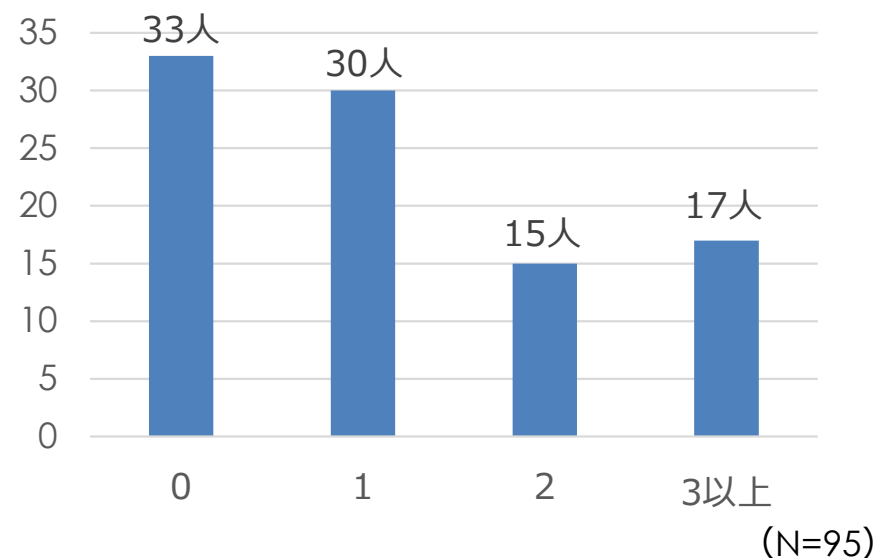
併願先：防衛省、農林水産省、特許庁、経済産業省 等

その他、都道府県庁は計15庁、市区町村役所は計7庁が併願先として挙げられていました。

民間企業へのエントリー数

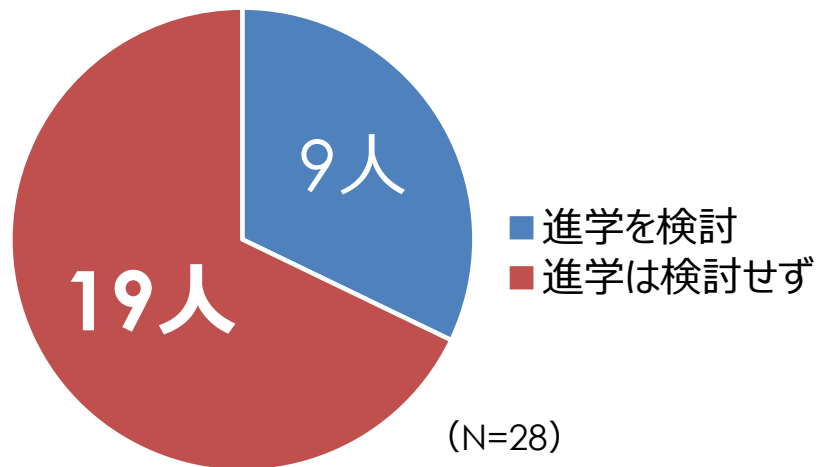


他省庁・公的機関との併願数

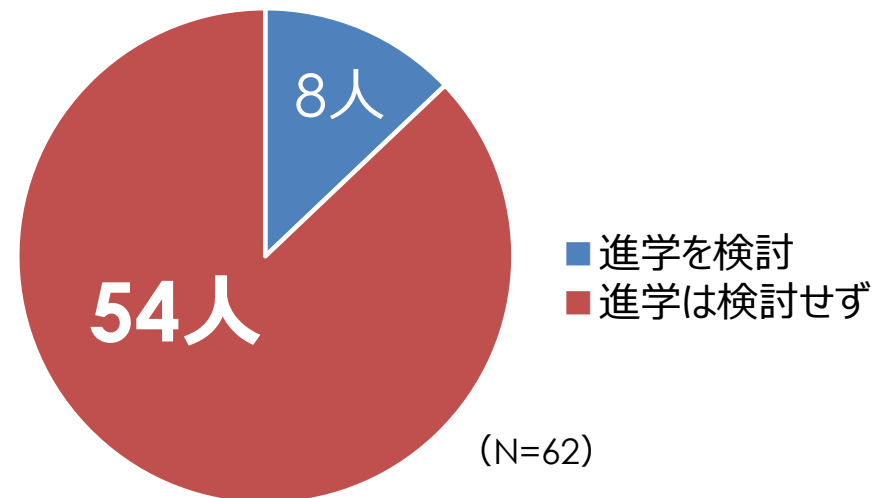


## 4-6 修士・博士課程への進学について

修士課程への進学検討（学部4年内定者）



博士課程への進学検討（修士1年内定者）



## 4-7 就活生へのメッセージ



公務員を志望する方は、ITや民間の技術系就職の方と比べると、どうしても内々定が出る時期が遅くなり、焦ることもあると思います。しかし、時期的な要因も大きいため、できる限り気持ちを切り切り、気分転換も行いながら頑張って乗り切ってください。



就活のタイミングにおける自己分析や業界分析は、これから社会に出る中でも役に立つものではないかと思っています。先の見えない苦しさもあると思いますが、無駄なことは何一つないと思うので、ポジティブに臨んでもらえればと思います！



就職活動では、様々な業界や企業、官庁を見てみるのが大切だと感じています。私自身の場合は、当初から志望していた国土交通省に対する思いが、より明確で確かなものになりました。就活は長期戦ですが、頑張ってください。心から応援しています。



# 【参考】各分野の内定者数 (2026年度入省予定者96名)

## ①自動車・海事・航空



14名

※他、2025年度早期入省者2名

## ②鉄道



3名

## ③電気通信



2名

## ④営繕（公共建築）



5名

## ⑤建設機械・施工



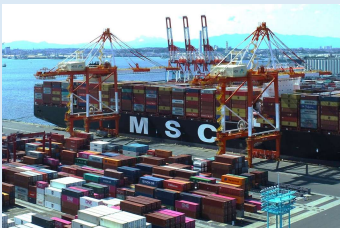
2名

## ⑥住宅・建築・都市・まちづくり



9名

## ⑦港湾・空港・鉄道



4名

## ⑧土木



47名

## ⑨北海道開発（農業）



2名

※他、2025年度早期入省者1名

## ⑩砂防



3名

## ⑪造園



2名

※他、2025年度早期入省者1名

## ⑫国土地理院



3名



採用パンフレット



採用HP



X(旧Twitter)



Instagram